

10月より、はちまん児童館・わら児童館・たかす児童館・たかす北児童館の開館時間が変わります。10月1日(水)から3月31日(火)まで 利用時間が10時～16時30分になります。休館日など、詳しい内容は通信「わわわ」カレンダーや子育て支援サイト、インスタグラムでご確認ください。

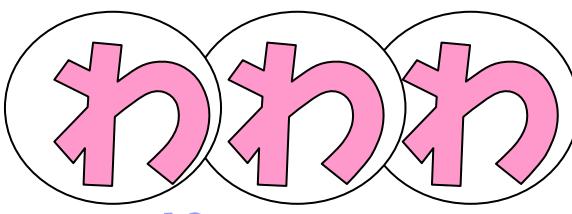


同年齢の子どもたちが集まると、仲良く遊んではほほえましい場面もあれば、おもちゃの取り合いでトラブルになる場面もあります。ことばの発達が十分でなく自分の感情をコントロールすることが難しい年齢にはよくあることですが、押し倒したり叩いたりということがあると、周りの子に怪我をさせないかと心配になり、とっさにきつく叱ってしまうこともありますよね。自分の思いを通そうとすることは自分を大切にできることもあり、自己主張の練習でもあり、人との関わり方を学ぶチャンスでもあります。トラブルになることで自分とは違う思いがあることを知り、我がままばかりでは受け入れてもらえないことや譲らなければいけないこともあります。仲直りの方法も学んでいくといいです。もちろん危険なことはきちんと伝えたいですが、感情が高ぶっている時にはなかなか言葉は入りません。叱るだけでなく子どもの思いに耳を傾け、嫌だった気持ちをしっかり受け止めてあげよう心がけてみましょう。話を聞く力を育てるには親がちゃんと子どもの話を聞いてあげる事が大切です。子どもの思いに寄り添いながらうまく伝えられない子に代わってことばにしてあげることもいいですね。そんな繰り返しの中で社会性の基礎が育まれていくのだと思います。

M.T



郡上市子育て支援センター通信



～輪・和・笑～



2025.10月号 NO.207

郡上市子育て支援センター (はちまん児童館内)

〒501-4221 郡上市八幡町小野8-5-1

TEL (0575) 66-0209 (はちまん児童館)

時間／月～金曜日 8時30分～17時15分

子育て支援サイト URL <http://gujo-kosodate.net>



郡上市子育て支援サイト「わわわ」では、毎月の通信を見ることができます。また、市内のいろいろな子育て情報も発信しています。



郡上市子育て支援公式インスタグラム「わわわ」配信しています！



～自己肯定感を育みましょう～

子育てをしていると、「子どもの自己肯定感（じここうていかん）」という言葉を耳にする機会がよくあるのではないでしょうか。

「自己肯定感」とは、「自分は大切な人間だ」「自分は生きている価値がある」「自分は必要な人間だ」という気持ちをいいます。自己肯定感が高い子は、たとえ失敗することができても立ち直る力があり、人生を前向きに生きていくことができると言われます。「自分のいいところも悪いところも、みんな受け入れられ愛されている」ことを感じ育っていくことで自己肯定感は育まれます。ありのままの子どもを丸ごと受け止めていきたいですね。

★自己肯定感を高めるポイントは？★



愛情を言葉で伝える

人は「愛されている」「必要とされている」と感じることができれば、自分は価値のある人間だと思うことができるでしょう。また、抱きしめたり頭をなでたり微笑みかけたりなど動作や態度で伝えることで愛されている、大切にされていることが実感できることが自己肯定感を高める何よりの方法です。



子どもの話に耳を傾ける

仕事や家事に忙しいと、子どもが何か話かけても「あとでね」と声を掛けたまま忘れてしまうことやしっかり聞いてあげられないことが続くと、誰かに思いを伝えることを諦めてしまいます。子どもの話にはしっかりと耳を傾け、聴いてあげることが大切です。



子どもを否定しない

子どもは突拍子もないことを言ったり、無理なことをやろうとすることがあります。「そんなことできるわけないでしょ」と否定されてしまうと、「どうせダメなんだ」とあきらめてしまうことがあります。可能であればチャレンジすることを見守り、できないことであれば「なぜできないのか」を一緒に考えましょう。



プラスの言葉掛けをする

言葉の力はとても大きいです。失敗して自信をなくしてしまった時に「大丈夫だよ」「頑張ったね」「次に頑張ろうね」などの言葉を掛けられたら、嬉しくてホッとした気持ちになるでしょう。



人と比べない

きょうだいや友だちなど、誰かと比べることは子どもの心を傷つけます。もし子ども自身が自信をなくしていたら「あなたはあなただから、人と比べる必要がない」「今のあなたのままで、十分に素敵だよ」と話してあげください。



自分の考えや意志をもてるようにする

生き生きと過ごすためには、自分の意志でチャレンジすることが大切です。子ども自身に「何がやりたいか」「どんな風にやりたいか」など問い合わせ自分で考える力が身に付くようにしましょう。考えても答えが見つからない時は一緒に考える姿勢が大切です。